

インディアナ日米協会

2005年プログラム一覧



インディアナ日米協会は、非営利組織であり、企業、教育機関、個人、学生などの組織に所属していない独立組織です。当協会の使命は、インディアナと日本の人々との連携の架け橋とすることです。当協会では、文化や教育の交流の場を提供し、絆を強め、日本人とインディアナ州民の相互理解の促進に献身しています。



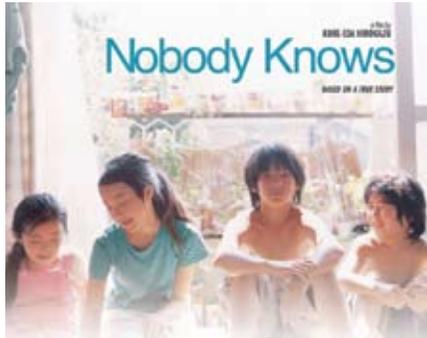
1月21日

インディアナ日本人会総会

インディアナポリス交響楽団のコンサートマスター、鈴木秀太郎氏と、ピアニストの鈴木ゼイダ・ルーガ氏をお迎えしての、インディアナ日本人会総会開催のお手伝い。

3月1日

「誰も知らない」特別試写会 (キャスルトン・アート・シネマ)



ある日母親に捨てられた4人の兄弟の実話を元に作成された日本映画『誰も知らない』のインディアナ日米協会会員様向け特別試写会を開催。12歳の長男「明」役を演じた柳楽優弥さんが、2004年カンヌ映画祭の主演男優賞を受賞。またこの映画は2004年アカデミー賞にもノミネートされました。

3月5日

東南アジア津波被害者救済のための慈善コンサート

インディアナポリス交響楽団のコンサートマスター、鈴木秀太郎氏が中心となり、インディアナポリスのパフォーミングアーツ・グループによる、東南アジア津波慈善演奏会(於: ヒルバート・サークル・シアター)に協賛しました。

東南アジアを襲った大規模な津波の被災者救済のため、鈴木秀太郎氏の呼びかけにより、インディアナポリス交響楽団、ヘンリー・レック氏とインディアナポリス子供聖歌隊、踊り万華鏡の皆さん、そして歌手のブレンダ・ウィリアムズ氏とシャノン・フォーセル氏による、コンサートが開かれました。

3月8日

日米中西部会歓迎食事会

インディアナ州が2006年の第38回年次日米中西部会議のホストを務めるにあたり、その準備委員会の皆様との歓迎食事会がコロンビアクラブにて開催されました。インディアナ日米協会の理事、インディアナ商務長官、インディアナ州経済開発公社の担当者および、菊田吉夫前大使、在シカゴ吉澤裕総領事、キッコーマン社(日本)の担当者が集まりました。

3月9日

鼓童コンサート (インディアナポリス・クラウズ・ホール)



インディアナ日米協会のメンバーが、世界的に有名な、太鼓パフォーマンス・グループ「鼓童」の素晴らしい演奏会に集合しました。当協会では、このコンサート開催にあたり、そのチケットを会員様向け特別割引にてご提供しました。

3月23日

JETRO/デロイト トウシュ 税制セミナー

米国の税制および問題について、JETRO(シカゴ)とデロイト トウシュ社のご協力の下、インディアナポリスにて日本語によるセミナーを開催しました。ハイアット・リージェンシー・ホテルで開催されたこのセミナーには、60名を超える日本人幹部の皆様にご参加いただきました。

3月12日-5月8日

インディアナポリス チルドレン・ミュージアム 『日本からの5人の友達』展



インディアナポリスのチルドレン・ミュージアムで、3月12日~5月8日に開催された巡回展『日本からの5人の友達』に、インディアナ日米協会が文化的なコンサルテーションおよびプログラムの開発を行いました。この展示会では、日本の小学校の授業中の様子、5人のそれぞれの子供たちの家や家族形態を通して、現在の典型的な日本の子供たちの生活を紹介します。展示の舞台は、教室、寝室、居間、豆腐屋、農家の庭です。

この展示では、ビデオテープを通して、日本にいる実在の5人の子供たちに「出会う」ことができます。そして、日本の子供たちが多様な個性を持ち、伝統的な価値観を守る一方で、現代的かつ国際的な文化が共存する社会の中で成長している様子を垣間見ることができました。

4月16日

ジェニングス郡基金、年次晩餐会『花見』 (ノース・バーロン)

インディアナ日米協会は、ジェニングス郡基金が「日本」をテーマにした年次晩餐会を開催するにあたり、そのお手伝いをしました。インディアナ民謡ダ

ンサーズの皆さんが、民謡ダンスに加え、懐かしのディスコ・ミュージックでの踊りも披露し、皆さんの多様なダンス能力を紹介しました。

4月17日

インディアナポリス・チルドレン・ミュージアム 『日本の文化』祭り

インディアナ日米協会と、インディアナポリスチルドレン・ミュージアムは共同で、日本の芸術、音楽、文化を紹介する一日イベント「日本の文化」祭りを開催しました。凧の制作、着物の試着、生け花、書道、相撲力士の切抜き写真撮影、アニメ、漫画コーナーの設置など、様々な催しが行われました。

豊野泰助さん御一家と南雅文さんによる琴と尺八アンサンブル、ヤーリン千春さんの琴の演奏、インディアナポリス民謡ダンサーズの皆さんによる民謡ダンスの披露、赤木俊介さんによる剣道のデモンストレーションなども行われました。また、ディズニーワールドのエプコットで活躍しているエンターテイナー寺沢政次さんを特別ゲストに迎え、鉛細工を始めとするユーモア溢れる、素晴らしいパフォーマンスに、会場は大いに盛り上がりました。

お手伝いいただいた皆様(敬称略): ライアン・ベル、フィリップス京子、藤岡京子、石井久子、デビット・レジンスキ、グレッグ・モア、南雅文、長野欣也、長野律子、ノア艶子、小山内良子、ピース妙子、シャチ生子、瀬瀬美智子、瀬々景子、島恵子、滝澤真由美、ヤーリン千春、ティム・ヤーリン

5月7日

米国心臓協会晩餐会

インディアナ日米協会は、米国心臓協会が「日本」をテーマに開催した資金集めのための晩餐会に、文化的なコンサルテーションなどを行いました。

5月11日

エバンスビル市・バッファロー史跡協会・ボーイスカウト

2005年市民賞を、Toyota Motor Manufacturing, Indiana 社長(当時、現会長)岡本清造氏に進呈。その際にインディアナ日米協会がお手伝いをしました。

6月14日

インディアナ日米協会2005年次晩餐会



インディアナ州知事 ミッチ・ダニエルズ ジュニア氏と、インディアナ・コルツ社長のビル・ボリアン氏、シカゴ日本国総領事館 吉澤裕総領事、デイビス中学校和太鼓合奏隊(オハイオ州ダブリン市)をお迎えし、2005年次晩餐会が開催され、400名以上の皆様にご来場いただきました。





同年に御逝去されました、現州知事の御父上であり、インディアナ日米協会の創設時の専務理事であるミッチェル E.ダニエルズ Sr氏に哀悼の意を込めて、特製ビデオが上映されました。

この年のイベントテーマは六月の梅雨の季節に準えて「五月雨」。会場中に日本の伝統的な赤い蛇の目傘を吊るしました。年次晩餐会は、日米のコミュニティ、そしてビジネス・リーダーの皆様にとり、インディアナ州内で最大かつ、最も格調高いイベントです。インディアナ州内の日系企業の最高責任者の皆様および、米企業のリーダーの皆様が主なご参加者です。



7月30日-8月7日

インディアナ州日本使節団



7月30日-8月7日まで、ダニエルズ州知事をリーダーに、インディアナ州の歴史上最も最大の海外貿易、投資使節団が日本を訪問しました。参加者は、インディアナ州知事、77名の州内代表者、州議会から6名、大学関係者3名、7名の市長、23名の企業関係者、25名の地方自治体の代表者。使節団の来日目的は、インディアナ州と日本との関係強化、イ



ンディアナ州への投資に対する感謝、そして更なる投資の可能性の創造です。東京での「インディアナの友人」レセプションは過去インディアナに在住されていた日系企業代表者、今後の投資見込みのある企業などを含む多くの参加者を集めました。州知事は新規事業、教育、文化の絆を、インディアナの姉妹県である栃木県と、新たに確立しました。

代表団来日は、インディアナ・コルツの東京ドームでのプレシーズン・ゲームの日程と重なり、代表団一同は東京でのコルツのゲームを楽しみました。

インディアナ日米協会専務理事テレサ・コザックは、インディアナ州経済開発公社が本使節団を結成するにあたり、知事および使節団に日本の慣例に関するオリ



エンテーションを始め、重要なアドバイザー役を務めました。また日米協会のオフィスは、東京でのセミナーについて助言も行いました。このセミナーは多くの使節団代表者が、インディアナに投資する利点を紹介するのにこれまでに最も素晴らしいプレゼンテーションであったという評価を頂きました。

岡本精造氏 (Toyota Motor Manufacturing, Indiana)、松本光史氏 (三井物産株式会社)、熊木康弘氏 (株式会社不二越)、川島秀行氏 (MJ Insurance) がインディアナでの経験を語り、当州のビジネス上の利点を説明しました。また当協会は、愛知エキスポで、Toyota Motor Manufacturing, Indiana 社のご支援による、「インディアナ・デイ」の計画にあたり渉外役を務めました。

また、使節団の旅程に先立ち、テレサ・コザックがグリーンキャスル市長ナンシー・ミッチェル氏と



グリーンキャスル/パトナム郡開発センターの代表者、ラファイエット・ウェスト・ラファイエット経済開発公社、Cinergy/PSI社の群馬県太田市の富士重工株式会社、しげる工業株式会社、株式会社千代田製作所本社訪問に同行しました。

9月11日-13日

第37回日本・米国中西部会日米合同会議 (オハイオ州シンシナティ市)

ミッチェル・ダニエルズ州知事およびパット・ミラー州務長官を含むインディアナのビジネスおよび州政府のグループにインディアナ日米協会の専務理事が同行。この年次会議には、日米のビジネスおよび政府のリーダー 350名が参加しました。

9月25日

第16回年次ゴルフクラシック



インディアナ日米協会とインディアナ日本人会による、第16回年次ゴルフクラシックが、コロンバス市のハリソンレーク・カントリークラブにて開催されました。

フィフサード・バンク、Toyota Motor Manufacturing, Indiana、ノースウエスト航空による後援。

150名を越すゴルファーが、スクランブル・トーナメントにご参加くださいました。

終日の激しい雨でずぶ濡れになりながらも、お二人の欠席者だけで、全ての参加者がゲームを完了し、皆様の忍耐強さとゴルフに対する情熱を証明しました。

10月15日

ヘルスネット 慈善晩餐会「日本」

インディアナポリスのウェスティン・ホテルにて開催された、ヘルスネット主催の慈善晩餐会にて、「日本」をテーマに、資金調達のための第14回年次晩餐会が開催されました。このイベントとはヘルスネット・コミュニティ・ヘルスセンターおよびクラリオン・ヒール・パートナーの慈善団体であるヘルスネット基金が主催しました。

ヘルスネットは、健康保険が無い、またはヘルスケアへの支払いに限界のある、およそ3万5千人のインディアナポリス住民に対して、低価格でヘルスケアを提供しています。このイベントにより集められた資金は、薬、検査代等に充てられます。時には患者の洋服などを買うこともあります。イベントではサイレント・オークション、ライブ・オークション、買い物などが開催され、日本の伝統音楽やエンターテイメントなどが披露されました。

インディアナ日米協会はおよそ一年にわたり、このイベントを成功させるためのコンサルテーション、プログラム作成、またスタッフおよびボランティアの方による支援を行いました。



10月20日

日本と米国のパートナーシップ: 世界的情勢の中でのその重要性



在シカゴ日本国領事館 吉澤裕総領事が、マリアン・カレッジ フランシスコ・センターで開催されたグローバル・スタディーにて講演をされました。

ワイン・レセプションと講義は、インディアナ日米協会と、政策研究のサガモア研究所による共同開催です。

10月28日

Kidscommons 私達の家「日本」設置 (コロンバス市)



インディアナ日米協会は、コロンバス市内に新しくオープンした子供博物館 (Kidscommons) の「私達の家」の製作にあたり、博物館のスタッフとコロンバス市の日本企業コミュニティとの橋渡しおよび、世話役として活躍しました。

「私たちの家」は、外国の住宅環境と文化を紹介する展示です。

インディアナ日米協会の支援と案内により、コロンバス日系企業会の皆さんが一丸となり、博物館の



中に「日本の家」を建築するにあたり、建築委員会および資金調達のキャンペーンを組織しました。

博物館の開館に引き続き、地域の日系企業に勤務されている御家族の皆さんによる、一年に渡る一連の日本の文化プログラムが準備されています。

当初 Kidscommons のスタッフは、毎年異なる国の建物や生活風景を紹介する予定でしたが、「日本の家」とそのプログラムが大変に成功したので、2年目も引き続き展示をする予定です。

12月19日

Memoirs of Geisha (邦題『SAYURI』)特別試写会 (キーストーン・シネマ)



Memoirs of Geisha (邦題『SAYURI』)の、インディアナ州内での一般公開に先駆けて、特別試写会を開催。

実話を基にしたベストセラー小説を映画化した、この映画は、2005年度アカデミー賞各賞を受賞しました。当日は200名以上の皆様が、オーシャン・ワールド・レストランの素晴らしいお食事と共に、映画を楽しみました。

情報サービス

インディアナ日米協会は、インディアナ州内における日本に関連する様々な情報提供サービスを行っています。アメリカ人からの日本や日本文化などに関する質問、その他様々な問い合わせに対応しています。また当協会ではバイリンガルのスタッフが、日本人の皆様からの個人的、家族関連、そして教育関連など幅広い分野のリクエストやご相談に対応しています。

会員相談

インディアナ日米協会のスタッフまたは専務理事が、日本の習慣、礼儀、旅行についてのプレゼンテーションや、日本人とのビジネスをするためのガイダンスを行います。

自動車管理局 (BMV) 通訳者募集および日本語による各種ご案内

インディアナ日米協会では、日本人社会に影響があるBMVの規定変更を監視しており、最新情報を会員の皆様にお知らせしています。また当協会では、インディアナ運転免許証の筆記試験を受験する際に通訳をすることができる、BMV認定通訳者のリストを整備しています。

日本語クラス開催

過去15年に渡りインディアナ日米協会は、インディアナ中部地域で最大の日本語クラスを提供してまいりました。クラスはコミュニティの興味に合うようデザインされ、スピーキングとリスニング、リーディング、ライティングに重点を置いています。

佐藤富美子さんによる授業は、最新の日本文化なども紹介されます。

就職紹介、翻訳・通訳紹介

企業会員の特典といたしまして、インディアナ日米協会での通訳、翻訳サービスのご利用、または業者のご紹介をいたします。当協会では、一般からまたは会員企業の方から、プロジェクトベースでの通訳または翻訳の依頼をいただいております。

インディアナ日米協会は就職斡旋者ではありませんが、当協会会員ネットワークを通じて、雇用の手助けをすることが出来ます。

インディアナ日米協会

39 West Jackson Place, Suite 50, Indianapolis, Indiana 46225

電話: (317) 635-0123 • Fax: (317) 635-1452

www.japanindiana.org

